



— 東邦ガス株式会社 —
2023年3月期
第3四半期
連結決算説明資料

2023年1月27日

目次

1.	2023年3月期 第3四半期連結決算の概要	…	3
2.	2023年3月期 連結決算の通期見通し	…	8
<参考1>	カーボンニュートラルの取り組み	…	13
<参考2>	中期経営計画（2022～2025年度）の概要	…	16
<参考3>	株主還元の実施状況	…	19

本資料における業績予想及び将来の予測に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、さまざまな要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

1. 2023年3月期 第3四半期連結決算の概要

(1) まとめ

- エネルギーお客さま数は、対前年1.5%増
- 都市ガス販売量は、対前年2.9%減、LPGは同0.9%減、電力は同14.5%増
- 売上高は対前年1,498億円増、経常利益は同184億円増

エネルギーお客さま数	2023.3期 3Q	2022.3期 3Q	増減	増減率	摘要
お客さま数 (千件)	2,908	2,865	43	1.5%	
エネルギー販売量	2023.3期 3Q	2022.3期 3Q	増減	増減率	摘要
都市ガス (百万m ³)	2,490	2,564	△74	△2.9%	お客さま先設備の稼働減など
LPG (千トン)	332	335	△3	△0.9%	
電気 (百万kWh)	1,661	1,451	210	14.5%	
収支	2023.3期 3Q	2022.3期 3Q	増減	増減率	摘要
売上高 (億円)	4,860	3,361	1,498	44.6%	
経常利益 (億円)	240	55	184	333.7%	

1. 2023年3月期 第3四半期連結決算の概要

(2) お客様数・販売量



エネルギー お客様数		2023.3期 3Q	2022.3期 3Q	増減	増減率	摘要
	お客様数 (千件)	2,908	2,865	43	1.5%	
	都市ガス※1	1,747	1,769	△22	△1.3%	競合影響など
	LPG※2	600	602	△2	△0.3%	競合影響など
	電気	561	494	67	13.6%	新規開発

※1 小売契約件数 ※2 配送受託件数を含む

都市ガス 取付メーター数 (千件)	2,571	2,548	23	0.9%	
----------------------	-------	-------	----	------	--

エネルギー 販売量		2023.3期 3Q	2022.3期 3Q	増減	増減率	摘要
	都市ガス (百万m ³)	2,490	2,564	△74	△2.9%	
	家庭用	349	378	△29	△7.7%	高気温影響等
	業務用等	2,141	2,186	△45	△2.0%	部品供給不足による生産稼働減等
	LPG (千トン)	332	335	△3	△0.9%	
	電気 (百万kWh)	1,661	1,451	210	14.5%	
	<参考> 平均気温 (℃)	20.3	19.7	0.6	—	対前年 1Q: +0.8℃、2Q: +1.0℃、 3Q: △0.1℃

1. 2023年3月期 第3四半期連結決算の概要

(3) 収支状況



単位：億円

	2023.3期 3Q	2022.3期 3Q	増減	増減率
売上高	4,860	3,361	1,498	44.6%
売上原価	3,714	2,393	1,320	55.2%
供給販売費 一般管理費	933	939	△5	△0.6%
営業利益	212	28	183	645.3%
経常利益	240	55	184	333.7%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	172	39	133	341.6%

	2023.3期 3Q	2022.3期 3Q	対前期比較
原油価格（全日本CIF）	107.9 ドル/バレル	74.0 ドル/バレル	33.9ドル高
為替レート（TTM）	136.5 円/ドル	111.1 円/ドル	25.4 円安

1. 2023年3月期 第3四半期連結決算の概要

(4) 経常利益 増減要因 (対前年同期)

経常利益 (55億円⇒240億円) + 184億円

■ **ガス販売量の影響** **△ 20億円**

■ **スライドタイムラグの影響** **△ 150億円**

(2022.3期 3Q △250億円 ⇒ 2023.3期 3Q △400億円)

■ **原材料在庫による受払差の影響** **+ 50億円**

(2022.3期 3Q +45億円 ⇒ 2023.3期 3Q +95億円)

■ **固定費の影響等** **+ 304億円**

1. 2023年3月期 第3四半期連結決算の概要

(5) 財政状況



単位：億円

	2023.3期 3Q末	2022.3期 末	増減
総資産	7,181	6,555	625
純資産	3,903	3,827	76
有利子負債	1,809	1,408	400
自己資本 比率	54.4%	58.4%	△4.0ポイント
D/Eレシオ (倍)	0.46	0.37	0.09

	2023.3期 3Q	2022.3期 3Q	増減
設備投資額 (投融資含む)	359	378	△18
減価償却費	272	273	△0

2. 2023年3月期 連結決算の通期見通し

(1) まとめ

- エネルギーお客さま数は、対前年2.2%増
- 都市ガス販売量は対前年1.0%減、LPGは同0.9%減、電力は同10.9%の増
- 売上高は対前年32.0%増、経常利益は同32.3%増

	2023.3期 見通し	2022.3期 実績	増減	増減率	摘要
エネルギー お客さま数	お客さま数 (千件)	2,873	63	2.2%	前回見通しから変更なし
	お客さま数 (千件)	2,937	63	2.2%	前回見通しから変更なし
エネルギー 販売量	都市ガス (百万m ³)	3,613	△38	△1.0%	前回見通しから変更なし
	LPG (千トン)	486	△5	△0.9%	"
	電気 (百万kWh)	2,126	232	10.9%	"
収支	売上高 (億円)	5,153	1,646	32.0%	前回見通しから変更なし
	売上高 (億円)	6,800	1,646	32.0%	前回見通しから変更なし
	経常利益 (億円)	219	70	32.3%	前回見通し (230億円) から +60億円上方修正

1月以降の前提：原油価格：90ドル/バレル、為替レート135円/ドル

2. 2023年3月期 連結決算の通期見通し

(2) お客さま数・販売量（対前年度実績） ※前回見通しから変更なし



エネルギー お客さま数		2023.3期 見通し	2022.3期 実績	増減	増減率	摘要
	お客さま数 (千件)	2,937	2,873	63	2.2%	
	都市ガス※1	1,757	1,756	1	0.1%	
	LPG※2	606	603	2	0.4%	
	電気	574	514	60	11.6%	新規開発

※1 小売契約件数 ※2 配送受託件数を含む

都市ガス 取付メーター数 (千件)	2,577	2,555	22	0.9%	新規開発
----------------------	--------------	-------	----	------	------

エネルギー 販売量		2023.3期 見通し	2022.3期 実績	増減	増減率	摘要
	都市ガス (百万m ³)	3,575	3,613	△38	△1.0%	
	家庭用	616	640	△24	△3.8%	気温影響や巣ごもり需要の減少など
	業務用等	2,959	2,973	△13	△0.5%	お客さま先設備の稼働減など
	LPG (千トン)	481	486	△5	△0.9%	冬場の低気温の反動など
	電気 (百万kWh)	2,358	2,126	232	10.9%	お客さま件数の増など

年間平均気温：2023.3期 計画16.9℃（2022.3期 実績：16.4℃）

2. 2023年3月期 連結決算の通期見通し

(3) 収支状況等

単位：億円



	2023.3期 見通し	2022.3期 実績	増減	増減率	摘要
売上高	6,800	5,153	1,646	32.0%	変更なし
営業利益	250	178	71	40.0%	前回見通し：190億円
経常利益	290	219	70	32.3%	前回見通し：230億円
親会社株主に 帰属する当期純利益	210	154	55	35.8%	前回見通し：160億円
設備投資額 (投融資含む)	714	603	110	18.3%	変更なし
減価償却費	368	365	3	1.0%	〃

【前提】

(単位：ドル/バレル、円/ドル)

【感応度(年間)】

	2023.3期	2022.3期	増減	備考
原油価格	103.4	77.2	26.2	1月以降：90ドル/バレル
為替レート	136.1	112.4	23.7	1月以降：135円/ドル

	ガス粗利
原油価格 +1ドル/バレル	△2億円
為替レート +1円/ドル	△4億円

2. 2023年3月期 連結決算の通期見通し (4) 経常利益 増減要因 (対前年)

経常利益 (219億円⇒290億円) +70億円

■ **ガス販売量の影響** **△10億円**

■ **スライドタイムラグの影響** **+230億円**

(2022.3期 △350億円 ⇒ 2023.3期 △120億円)

■ **原材料在庫による受払差の影響** **△55億円**

(2022.3期 +95億円 ⇒ 2023.3期 +40億円)

■ **固定費の影響等** **△95億円**

2. 2023年3月期 連結決算の通期見通し (5) 経常利益 増減要因 (対前回公表計画)

経常利益 (230億円⇒290億円) + 60億円

■ **ガス販売量の影響** **±0億円**

■ **スライドタイムラグの影響** **+40億円**

(前回公表計画 △160億円 ⇒ 今回公表計画 △120億円)

■ **原材料在庫による受払差の影響** **△5億円**

(前回公表計画 +45億円 ⇒ 今回公表計画 +40億円)

■ **固定費の影響等** **+25億円**

<参考1> カーボンニュートラルの取り組み 関係先との連携イメージ

東邦ガスグループ 2050年カーボンニュートラルへの挑戦 (2021年7月公表)



<参考1> カーボンニュートラルの取り組み 連携に向けた具体的な取り組み①

自治体との連携	6/6	知多市と連携した「バイオガス由来のCO ₂ を活用したメタネーション実証試験」について
	7/4	桑名市公共施設へのカーボンニュートラルな都市ガスの供給について～自治体に向けた供給は東海3県初～
	9/30	電力の地産地消と脱炭素化を目指す「鈴鹿グリーンエナジー株式会社」の設立について
	11/25	岡崎市とのカーボンニュートラルの推進等に関する包括連携協定締結について～包括連携協定は当社初～
	11/29	「刈谷知立みらい電力株式会社」の設立について
	1/20	「いちのみや未来エネルギー株式会社」の設立について
	1/23	羽島市とのゼロカーボンシティ実現に向けた包括連携協定の締結について
	1/26	知立市とのSDGs推進に関する包括連携協定締結について
	1/26	桑名市とのゼロカーボンシティ実現に向けた包括連携協定締結について

<地域新電力の設立の様子>

※日付はプレスリリース日（いずれも2022年度）



<参考1> カーボンニュートラルの取り組み 連携に向けた具体的な取り組み②



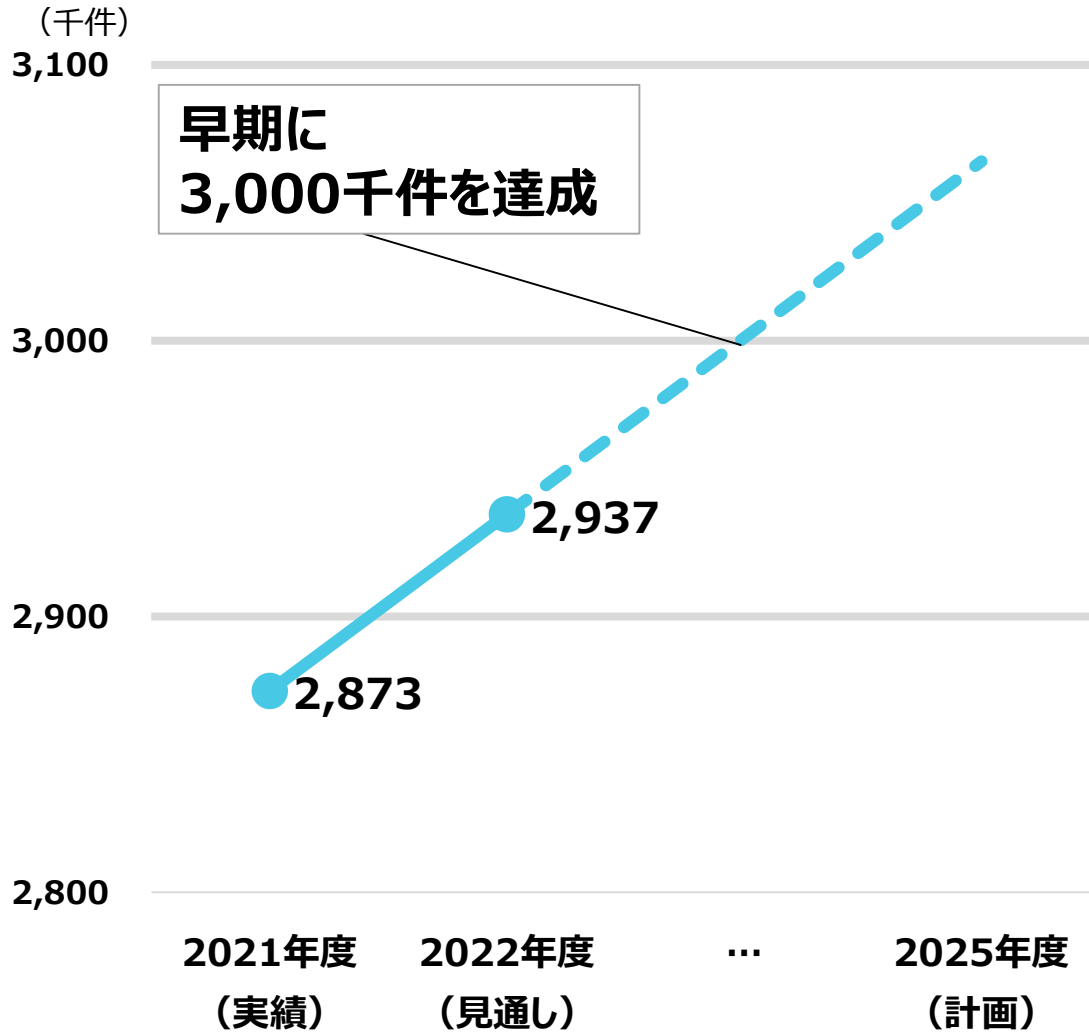
パートナー企業	6/13	カーボンニュートラル実現に向けた豊田通商・トタルエナジーズとの協業について～水素・合成メタンなどのバリューチェーン構築を目指す～
	7/25	業務用のお客さまのカーボンニュートラル実現を支援するコンサルティングサービスの本格開始
	8/19	再生可能エネルギーの普及促進に向けた系統用蓄電池の導入について～東海3県での導入は初～
	9/22	タイにおける産業用向け天然ガス販売事業への参画について
	9/27	大王製紙可児工場 石灰焼成キルンの燃料転換を実現～重油から都市ガスへの転換により、CO ₂ 排出量を削減～
	11/18	ベトナムにおける産業用向け天然ガス販売事業への参画について
関係省庁	4/26	スマートタウン「みなとアクルス」が環境省の「脱炭素先行地域」に選定
	6/10	大型ガスエンジンコージェネレーションの水素レトロフィットモデル普及課題調査がNEDO「水素社会構築技術開発事業／地域水素利活用技術開発」に採択
エネルギー業界	4/18	「八代バイオマス発電所」の工事着手
	5/10	ヴィーナ・エナジー、四国電力、東邦ガス 青森県沖日本海（南側）の洋上風力発電事業開発に向けたコンソーシアムを設立
	5/13	LNG未利用冷熱を活用したCO ₂ 分離回収技術開発・実証がNEDO「グリーンイノベーション基金事業」に採択
	5/20	知多緑浜工場に水素製造プラントを建設～カーボンニュートラルに資する水素サプライチェーン構築～
	6/1	国内最大級112,000kWの木質バイオマス専焼発電所「田原バイオマス発電所」の工事着手
	11/11	節電促進に向けたデマンドレスポンスサービスの実施について 参加申し込み受付を開始
	11/17	トランジションボンドの発行について
	11/29	米国キャメロンLNG基地を活用した日本への合成メタン（e-methane）導入に関する詳細検討の実施について 東京ガス・大阪ガス・東邦ガス・三菱商事4社で推進

<参考2> 中期経営計画（2022～2025年度）の概要

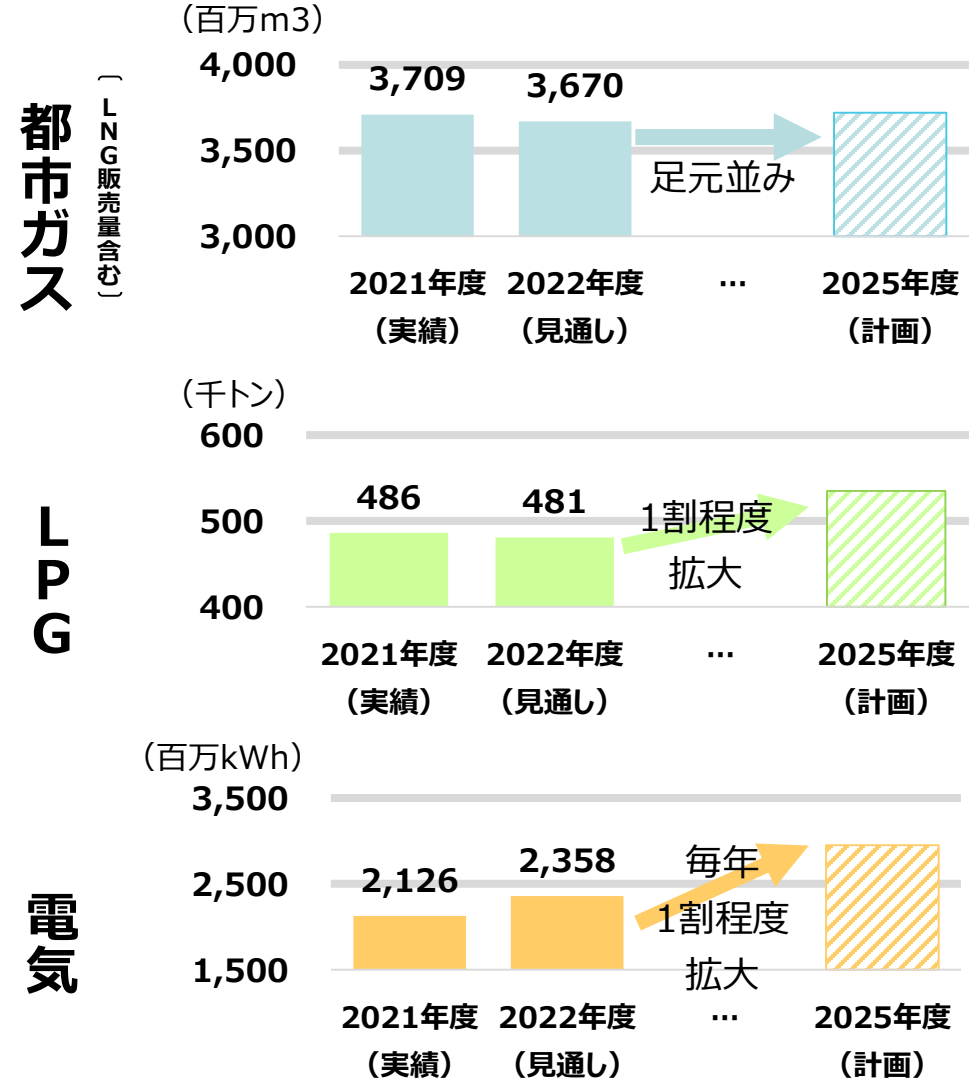
数値目標



エネルギーお客さま数



エネルギー販売量



<参考2> 中期経営計画（2022～2025年度）の概要

経営指標



方針

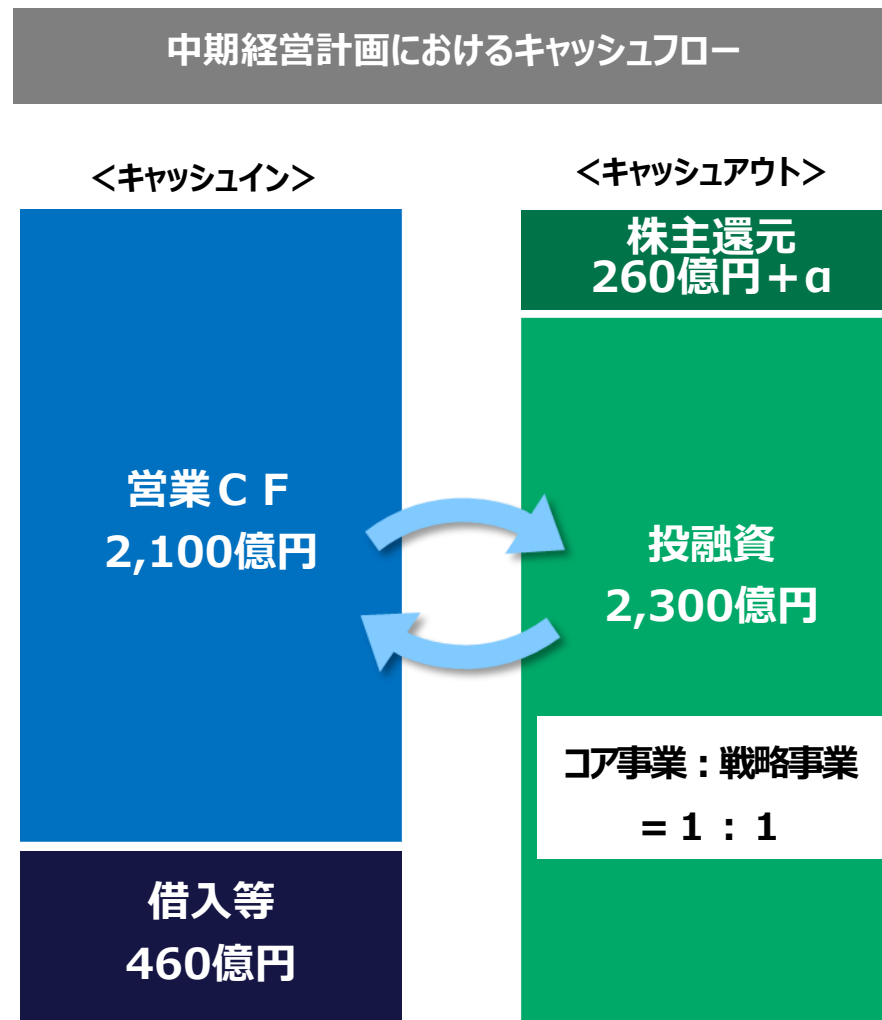
- 営業キャッシュフローの創出力を維持しつつ、持続的な成長に向けた投資を加速
- 投資拡大局面においても効率性や健全性のバランスをとって全体を管理

	経営指標	経営目標
収益性	営業キャッシュフロー	2,100億円 以上 (2022～2025年度累計)
効率性	ROA	3%程度 ^{※1} > WACC ^{※2} (2025年度)
健全性	D/Eレシオ	0.6程度 (2025年度)

※1 2025年度の連結経常利益250億円程度 ※2 WACC = 資本コスト: 2%台半ば

株主還元方針	安定配当を基本とし、機動的な自己株取得・消却を合わせ、中長期的に連結当期純利益の4～5割を目安として株主還元を実施
---------------	---

中期経営計画におけるキャッシュフロー



<参考3> 株主還元の実施状況

■ 株主還元方針

安定配当を基本とし、機動的な自己株取得・消却を合わせ、中長期的に連結当期純利益の4～5割を目安として株主還元を実施。

- 2022年度配当は、通期で一株当たり60円を予定。

単位：億円

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022 (計画)
連結当期純利益	112	190	430	177	180	148	162	85	154	210
年間配当額	49	51	54	53	55	58	58	58	60	63
[1株当り配当]	[45円]	[47.5円]	[50円]	[50円]	[52.5円]	[55円]	[55円]	[55円]	[57.5円]	[60円]
自己株取得	-	29	45	29	-	29	-	-	15	-
株主還元 計	49	80	99	82	55	87	58	58	76	63



東邦ガス

100th
anniversary